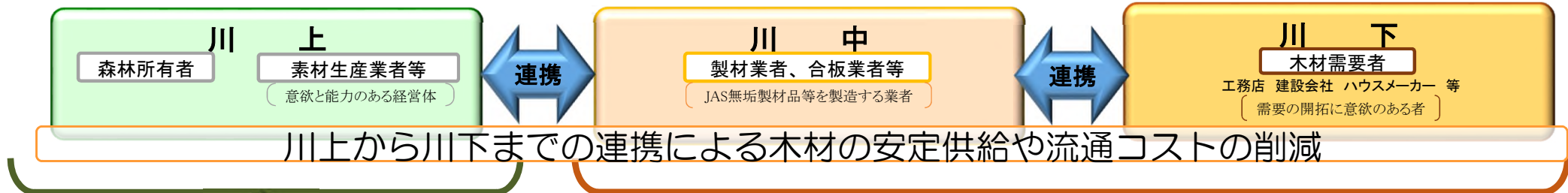


林業成長産業化総合対策

【平成30年度予算概算決定額 23,470百万円】

意欲と能力のある経営体に森林の経営・管理を集積・集約化する新たな森林管理システムを構築することが見込まれる地域を中心として、路網整備・機械導入を重点的に支援するほか、主伐・再造林の一貫作業の推進、川中・川下との連携強化、JAS無垢材の利用拡大など、川上から川下までの取組を総合的に支援します。



林業・木材産業成長産業化促進対策 【12,290百万円】

(持続的林業確立対策)

新たな森林管理システムを構築する地域に対し重点的に支援

路網整備

- ・木材の搬出コストを低減するための基盤整備

民国
連携

高性能林業機械導入 (購入、リース)

搬出間伐の推進

資源高度利用型施策

- ・主伐時の全木集材、それと一貫して行う再造林の実施

コンテナ苗生産基盤施設等整備

- ・造林のコスト削減に資するコンテナ苗の安定供給

意欲と能力のある経営体の育成

- ・主伐を行う素材生産業者等の規模拡大等を支援

森林整備地域活動支援交付金等

- ・施業の集約化に向けた境界の明確化
- ・地域の自伐林家等への支援

民国
連携

林業成長産業化地域保全対策事業

- ・山村地域の防災・減災対策
- ・森林資源保全対策 (鳥獣害、病虫害対策等)

林業成長産業化地域創出モデル事業

- ・新たな森林管理システムを活用して先進的に取り組む地域をモデルとして支援

民国
連携

(木材産業等競争力強化対策)

意欲と能力のある経営体との連携を前提に支援

木材加工流通施設等の整備

- ・需要者ニーズに対応した木材製品の安定的・効率的な供給体制を構築

木造公共建築物等の整備

- ・CLTの活用など木材利用のモデル性が高い施設の木造化・木質化を重点的に支援

木質バイオマス利用促進施設の整備

- ・地域連携の下で熱利用又は熱電供給に取り組む「地域内エコシステム」を重点的に支援

特用林産振興施設の整備

- ・地域経済で重要な役割を果たすきのこのほだ場など特用林産物の生産基盤等の整備を支援

ICT、人づくりによる成長産業化支援対策

- ・ICTの活用支援 (需給マッチング、路網整備の効率化のための人材育成等)
- ・「緑の雇用」による施業現場の管理者の育成や労働安全対策

民国
連携

木材需要の創出・木材産業活性化対策

- ・新たな需要につながる非住宅分野を中心としたJAS無垢材、CLT等の利用促進
- ・高付加価値製品による海外需要の開拓
- ・CNFなどのマテリアル開発支援等

川上・川下連携による成長産業化支援対策 【2,481百万円】

森林整備事業(成長産業化路網枠)
【8,000百万円】

- ・木材を低コストで安定供給する体制を整備するため、意欲と能力のある経営体等が行う設備投資等に対する融資を充実

林業・木材産業金融対策 【698百万円】

林業成長産業化総合対策のうち 木材産業・木造建築活性化対策

平成30年度予算概算決定額
1,087,413（－）千円

背景

本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、新たな木材需要の創出と、地域材の安定供給体制の構築を車の両輪として進め、林業・木材産業の成長産業化を実現することが重要。

実施内容

非住宅分野を中心としたJAS構造材（無垢製材、CLT）の利用拡大、中高層建築物等に活用できるCLTの利用促進、顔の見える木材での快適空間づくり、川上から川下の関係者による地域の生産・加工・流通の効率化に向けた取組を支援します。

非住宅分野を中心とした無垢構造材等利用拡大事業 【500,000（－）千円】

○格付実績が低位なJAS構造材（無垢製材、CLT）を積極的に活用すると宣言した事業者の登録・公表、登録事業者が地域における先例となり得る建築を実証的に行う場合に、使用したJAS構造材の調達費の一部を支援



JAS構造材（2×4製材）を活用した大型商業ビル

○JAS無垢材を活用できる設計者を育成する技術セミナーや事例見学会の取組を支援

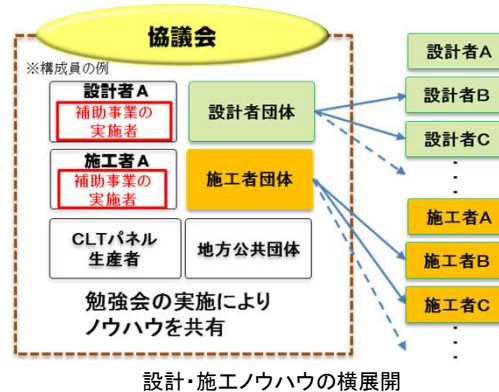


セミナーの実施

CLT等新たな木質建築部材利用促進・定着事業 【409,853（－）千円】

(1) CLT建築物の設計・建築

普及・波及効果の高い協議会方式によるCLT建築物の設計・建築の取組等への支援



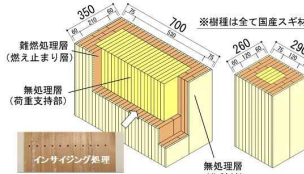
設計・施工ノウハウの横展開

(2) 新たな製品・技術の開発

基準整備に必要なデータ収集や民間の創意工夫を活用した独自性、新規性が高い開発等を支援



CLT強度データの収集



木質耐火部材

顔の見える木材での快適空間づくり事業 【57,921（－）千円】

A材丸太を原材料とする付加価値の高い構造材、内装材、家具、建具等の製品・技術開発や普及啓発等の取組を支援



新たな内装材の開発



普及啓発

新たな生産・加工・流通体制づくり推進対策 【119,639（－）千円】

(1) 需給情報の共有・活用

川上から川下までの関係者が広域的に連携した協議会開催等により、需給情報の共有・活用を図りながら、新たな生産・加工・流通体制を構築

(2) 木材加工設備導入等利子助成

木材加工設備や山林取得等に対する利子助成

(3) 木材加工設備等リース導入支援

木材加工設備等のリース導入を支援

(4) 森林認証材の需要拡大

森林認証材の普及啓発等の取組を支援



木材加工設備

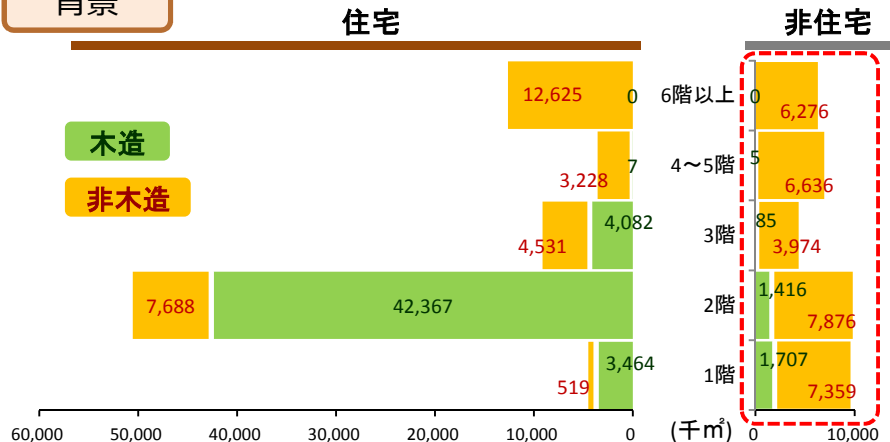
非住宅分野を中心とした無垢構造材等利用拡大事業

〔平成30年度概算決定額
500,000(一)千円〕

趣旨

店舗、事務所、倉庫、工場等の非住宅分野を中心とした木造建築の市場を開拓するため、品質・性能が明確で構造計算が可能なJAS構造材（無垢製材（人工乾燥機械等級区分製材、2×4製材）、CLT）の需給拡大を強化。

背景



非住宅建築においては、
厳密な構造計算が必要。

構造計算に対応できる
JAS構造材の格付実
績を引き上げ、流通
量を拡大。

〔集成材、合板は格付の
量・率ともに高水準〕

製材等のJAS格付率（推計）

区 分	国内流通量(万m³)		格付量(万m³)		格付率(%)	
		うち国内生産		うち国内生産		国内生産
製材全体	1,523	923	124	119	8%	13%
一般製材	-	909	105	105	-	12%
2×4	-	14	19	14	-	100%
集成材	226	149	212	141	94%	95%
合板	555	328	456	297	82%	91%
CLT	0.5	0.5	0.2	0.2	40%	40%

資料：国内流通量は農林水産省「木材需給報告書(H27)」、格付量は農林水産省業務資料
注：・2×4の国内生産量はJAS格付量とし、不明分は(一)とした
・合板の生産量は普通合板及び特殊合板の合計
・統計データの集計期間は異なる(国内流通量は暦年、格付量は年度)
・CLT生産量は、日本CLT協会調べ

(1) JAS構造材活用事業者拡大事業

工務店等木材の実需者や発注者における、格付実績が低位なJAS構造材を積極的に活用する気運を高めるため、「JAS構造材活用拡大宣言」運動を展開する普及活動を支援します。また、宣言を行った事業者を登録・公表し、成果の見える化を図ります。

JAS構造材活用拡大宣言 (イメージ)

- ① 実需者
 - ・設計者：JAS無垢材・CLT活用設計宣言
 - ・工務店：JAS無垢材利用率アップ宣言
 - ・流通業者：JAS無垢材常時取扱宣言
 - ・プレハブ建築業者：JASCLT利用拡大宣言
- ② 発注者
 - ・サービス産業の企業：JAS無垢材・CLT活用店舗拡大宣言
 - ・倉庫オーナー：JAS無垢材活用倉庫建設宣言
- ③ 木材加工業者
 - ・製材業者：JAS無垢材増産宣言
 - ・プレカット業者：JAS無垢材・CLT利用拡大宣言

JAS構造材の需要拡大

低コスト・安定的な生産・加工・流通によるJAS構造材の供給拡大

(2) JAS構造材実証支援事業

(1)の登録事業者(建築業者)が、木造非住宅分野を中心にJAS構造材を活用して、他建材から木材への切替を促すなど地域における先例となりうる建築を実証的に行う場合、JAS構造材の調達費の一部を支援します。(現場の施工性や気づきの点等のレポートの作成・提出が必要です)



(3) JAS無垢材活用設計者育成事業

JAS無垢材製品を用いた非住宅建築物の設計ができる技術者を育成するため、技術セミナーや実例見学会の取組を支援します。



セミナーのイメージ